

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり4月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

2月16日(火)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は4月初旬ごろ郵送します。



「大宮の一本松」(宮成町)

宮成町のあたりをまだ大宮村と言っていた頃、村はずれに1本の大きな松が立っていた。この松は村人の願いを叶えてくれたり、心を入れ替えさせてくれるといわれていたので「願かけの松」と呼ばれていた。

ある日の夕暮れ、3人の盗人が願かけの松の陰に隠れて母娘に襲いかかろうとしていた。そして、母娘の前に「金を出せ！」と盗人が飛び出した。「人のものを奪ってはいけません」と母親の声を聞いた途端、3人は石の仏様のように動けなくなってしまう。「心を入れ替えますからどうぞお許しを……」と入れ墨をした男たちが頼むと、もとの体に戻った。しめたとはい、再び母娘に襲いかかると願かけの松の枝がまるで人間の手のように3人を取り押さえ「真人間になれ！真面目に働いて宝物を生み出すのだ」という声が響き渡った。「真人間になります」と3人は命からがら逃げていった。

しばらくして、願かけの松の下で人相の悪い3人組がわき目もくれず、心を込めて石を刻んでいた。石を刻み始めて三十三日経ち、男たちはどこへともなく立ち去った。そして、願かけの松の根元にはできあがったばかりの優しい顔の石の仏様が置かれていた。

数年の月日が経ったある日、一人の坊さんが願かけの松にやって来た。厳しい修行のために衣服は破れ、すっかり日焼けした肩の辺りにはうっすらと入れ墨のあとが残っていた。坊さんは石の仏様を愛おしそうに見つめ、何度も深くうなずいた。やがて坊さんは小屋を作りそこで暮らすようになった。

12月号クイズまちがいさがし
くちな塚の答え

応募数 95通

正解者 89人

当選者(敬称略・50首順)

- 元町 市川仁史
 - 竹谷町 北河千代
 - 形原町 杉浦ほし子
 - 竹谷町 野々村明子
 - 水竹町 原田浩希
 - 清田町 伴 明子
 - 海陽町 伏尾恵美子
 - 御幸町 宮脇 咲
 - 竹島町 山口義弘
 - 宝町 山本百々穂
- おめでとーございませう。賞品は2月初旬に発送します。

◆12月号の答え

